

カリキュラム・マップ

経営学部の教育目的
価値観の多様性のなかで、ビジネス活動を通して、自己実現と社会貢献を同時に行えるリーダーシップを有する人材を育成する。

学修成果
<p><学部全体></p> <p>1) 高い倫理観を持って、自らの言動・価値観を批判的に内省しつつ、行動できる。(「1. リベラルアーツの素養」「3. 自己を理解し発展させる力」と関連)</p> <p>2) 偏見を持たずに様々な文化背景・生活体験を有する人たちと良好な人間関係を構築し、協働的に作業ができる。(「5. 他者を理解する姿勢」「7. リーダーシップ」「8. 国際性」と関連)</p> <p>3) 英語以外のもうひとつの外国語で、平易な会話、読み・書きができる。(「6. 表現力」「8. 国際性」と関連)</p> <p>4) 卒業後も、様々な問題について興味を持ち、自らテーマを設定し、真理を探究するために自律的・創造的に研究・調査できる。(「3. 自己を理解し発展させる力」「4. キャリア展望を確立する力」と関連)</p> <p>5) 経営学全般に関する知識や情報を批判的に取捨選択し、様々なビジネス・プロジェクトに活用することができる。(「2. 専門性」「9. 社会的実践力」と関連)</p> <p>6) 「マーケティング」「マネジメント」「アカウンティング&ファイナンス」「コミュニケーション」の少なくとも一つ分野に関する深い知識を持ち、様々な課題を分析し、ビジネス・プロジェクトを論理的に立案し、実行できる。(「2. 専門性」「9. 社会的実践力」と関連)</p> <p>7) 言語Aの学修によって、聞く・話す・読む・書くという基本的技能にもとづいて、状況に応じて適切なコミュニケーションができる。さらに、英語圏の文化のみならず、英語を通して得た国際的な知見によって、多様な文化を理解し、対応できる。また、自分の専門領域の内容を英語で学ぶ基礎が身につく。ただし、NEXUSプログラムでは、言語A(日本語)の学修によって、大学での学修に必要とされる高度な日本語運用能力を養うとともに、実社会のコミュニケーションに対応できる実践的な日本語力が身につく。</p> <p>8) 言語Bの学修によって、聞く・話す・読む・書くという基本的技能にもとづいて、日常生活における基本的なコミュニケーションができる。さらに、当該言語圏の文化のみならず、その言語を学ぶ過程で獲得した多角的な視点を通じて、異文化を理解し、対応できる。また、留学生については、大学での学修に必要とされる高度な日本語運用能力を養うとともに、実社会のコミュニケーションに対応できる実践的な日本語力を身につける。</p> <p>9) 学びの精神では、立教大学設立理念の一端に触れ、自ら主体的に学ぶ姿勢を身につけ、大学での講義科目受講の包括的スキルを体得する。</p> <p>10) 多彩な学びでは、学問的知見の多様性と豊饒性を理解し、他の諸学問の成果を交錯させることで、世界を複眼的に解説する柔軟な知性を涵養する。また、スポーツ実習では、心身の健康増進を目的とした科学的知識を理解し、スポーツの実践とおとした体力の維持・向上、運動習慣を醸成する。</p> <p><経営学科></p> <p>11) とくに経営学科に在学した学生は、様々なビジネス場面で各種ビジネス分析ツールを活用しつつ、問題解決のためにリーダーシップを発揮できる。(「2. 専門性」「7. リーダーシップ」「9. 社会的実践力」と関連)</p>

経営学部経営学科のカリキュラム				経営学部の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)							
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1) 高い倫理観を持って行動できる	2) 良好な人間関係を構築し、協働的に作業ができる	3) 英語以外の外国語による運用能力の(平易な会話、読み・書き)養成	4) 自律的・創造的に研究・調査できる能力の養成	5) 経営学全般に関する知識の応用	6) 課題を分析し、ビジネス・プロジェクトを論理的に立案・実行	7) ビジネス分析ツールの活用と、問題解決のためのリーダーシップの養成	8) 英語でビジネス課題を把握して解決策を提示することができる
必修科目											
経営学入門	必修科目	1	わかりやすい事例にもとづき経営学の基礎理論を理解し、経営学科・国際経営学科が展開する7つの専門科目群の経営学上の位置づけを把握することができる。	△				△	◎	○	
経済学入門	必修科目	1	主にミクロ経済学分野を中心に、経済活動の基本である消費者や生産者などの行動を科学的に分析する学習を通して、経営学の各分野に応用できる基礎知識の理解と、論理的思考を身につけることができる。					◎	○		
会計学入門	必修科目	1	会計学全体の体系を理解したうえで、特に簿記ならびに財務諸表の基本的な仕組みをしっかりとマスターすることができる。					○	◎	◎	○
選択科目											
基礎科目 ビジネス基礎											
リーダーシップ入門	選択科目 基礎科目	1	グループディスカッションやグループプロジェクトを通して、自律的に学習し組織や集団に主体的に関わり合う姿勢を身につけることができる。	○	◎						○
グッド・ビジネス	選択科目 基礎科目	1	「企業」や「ビジネス」に関する標準的な経営思想、経済社会の中で企業がどのような役割、権利、義務を持つかについての理論を学ぶ。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
基礎科目 コンセントレーション基礎											
ビジネス概論A(マーケティング・マネジメント・コミュニケーション)	選択科目 基礎科目	1	経営学の専門領域を学ぶ上で必要となる基本事項のうち、特にマーケティング、マネジメント、コミュニケーション領域の基礎的知識を身につけることができる。				◎	◎	◎	○	
ビジネス概論B(会計学・ファイナンス・経済学)	選択科目 基礎科目	1	経営学の専門領域を学ぶ上で必要となる基本事項のうち、特に会計学、ファイナンス、経済学領域の基礎的知識を身につけることができる。			◎	◎	◎	◎	○	
基礎科目 ビジネスリテラシー											
ICTリテラシー	選択科目 ビジネスリテラシー	1~4 (1年次推奨)	コンピュータやネットワークに関する基礎的な仕組みを学び、専門学習において必要となる初歩的な情報処理技術を習得することができる。				◎	○	○	△	
ビジネスリテラシー1	選択科目 ビジネスリテラシー	1~4 (1年次推奨)	ビジネスリテラシーの基礎となる統計学の基礎を学ぶ。統計学は、現代社会にあふれるさまざまなデータを有効に活用するための手段を提供する。学生は、その基礎となる考え方を理解し、統計活用の利点や注意点を理解することができる。				◎				
ビジネスリテラシー2	選択科目 ビジネスリテラシー	1~4	統計学の主要な考え方を理解し、現代社会にあふれるさまざまなデータを有効に活用できる素養を身につけることができる。				◎		○		
経営学のための数学	選択科目 ビジネスリテラシー	1~4	経営学で頻繁に用いられる「市場調査データの分析」「数理的モデルによる分析」の基礎となる数値リテラシーを身につけることができる。				○		○	○	
社会調査実習	選択科目 ビジネスリテラシー	3~4	社会調査の技法を理解し、調査の企画・設計からデータの収集・分析に関する具体的な方法を身につけることができる。	△			◎		○	○	
選択科目 基幹科目											
GBI											
CSR	選択科目 基幹科目 GBI	2~4	企業の社会的責任(CSR)経営について、歴史的経緯と理論を踏まえながら学習することで、企業が置かれている状況と課題を把握することができる。	◎					○		
経営史	選択科目 基幹科目 GBI	1~4	近代工業の成立から近年に至るまでの世界の企業経営の推移について検討することをつうじて、企業経営の歴史的变化について理解することができる。				◎		○		
ビジネスロー	選択科目 基幹科目 GBI	2~4	ビジネス・シーンにおける法的論点を考察し、戦略的知識および法的思考力を習得することができる。	◎					○	○	

経営学部経営学科のカリキュラム				経営学部の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)							
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1) 高い倫理観を持って行動できる	2) 良好な人間関係を構築し、協働的に作業ができる	3) 英語以外の外国語による運用能力の(平易な会話、読み・書き)養成	4) 自律的・創造的に研究・調査できる能力の養成	5) 経営学全般に関する知識の応用	6) 課題を分析し、ビジネス・プロジェクトを論理的に立案・実行	7) ビジネス分析の活用と、問題解決のためのリーダーシップの養成	8) 英語でビジネス課題を把握し、解決策を提示することができる
経営と社会	選択科目 基幹科目 GBI	2~4	企業と社会とのかかわりを、企業とその事業環境という観点からとらえ、よりよい経営とは何かを提案する力を身につけることができる。	○			◎	◎	△	△	
コーポレートガバナンス	選択科目 基幹科目 GBI	2~4	コーポレートガバナンスの概念や定義について考察し、ステークホルダーとの関係や実際の企業の経営行動を観察することを通じて、コーポレートガバナンスの本質について理解することができる。	◎	△		△	◎	○	△	
サステナビリティ&ビジネス	選択科目 基幹科目 GBI	2~4	サステナビリティ(ビジネスの持続可能性)について、歴史的経緯と理論を踏まえながら学習することで、産業社会が置かれている状況と課題を把握することができる。	◎				◎	○		
Business and Society	選択科目 基幹科目 GBI	2~4	To develop awareness of the social issues currently facing corporations and develop analytical skills necessary for their management.	◎				○	○	△	◎
グッド・ビジネス・ワークショップ	選択科目 基幹科目 GBI	3~4	事例研究とグループワークを通じて、ビジネスのなかで企業が直面する経済・環境・社会などの問題をどう捉えるべきか、どう解決すべきかを学ぶことができる。	◎	◎		◎	◎	◎	◎	
Good Business Seminar	選択科目 基幹科目 GBI	3~4	This course is designed to give students an understanding of the theory and practice of business model development for the promotion of both economic performance and social wellbeing within the socio-economic context of Japan.	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎
Basics in Business and Society	選択科目 基幹科目 GBI	1~4	Students learn about the social role of business for sustainable management, including the development of knowledge about corporate ethics.	◎			○	◎	○		○
BLP											
BL1	選択科目 基幹科目 BLP	1	チーム対抗で行なうディベートの試合とその振り返りを通じて、より説得力のある論理構成やディスカッションの方法を習得することができる。	○	◎		○	○	◎	○	
BL2	選択科目 基幹科目 BLP	2	問題解決プロジェクトを通じて、グループ活動を効果的に推進するためのリーダーシップのあり方を学び、適切なリーダーシップ発揮のために自分たちに何が足りないのかを自覚することができる。	○	◎		○	○	◎	◎	
BL3-A	選択科目 基幹科目 BLP	2~4	リーダーシップの持論構築や実際のリーダーシップ発揮に役立つようなリーダーシップ理論を習得し、リーダーシップ研究に対する知的関心をもつことができる。					◎		○	
BL3-B	選択科目 基幹科目 BLP	2~4	うまくリーダーシップを発揮するために必要なコミュニケーション能力を身につけることができる。		◎					○	
BL3-C	選択科目 基幹科目 BLP	2~4	論理思考(ロジカルシンキング)の基礎となる手法を学ぶ。また、論理思考を活かせるだけの「考える体力」(闘争力と持久力)をつける。この結果、状況把握、説明・説得、立案・問題解決の力を高めることができる。				○		◎	○	
BL4	選択科目 基幹科目 BLP	3~4	アントレプレナーシップ(起業家精神)を養い、ビジネスプランの策定力と、より高度なビジネスリーダーシップを身に着けることができる。	○	◎		○	◎	◎	◎	
選択科目 コンセントレーション科目											
マーケティング											
サービス・マーケティング	選択科目 コンセントレーション科目 マーケティング	2~4	サービス・マーケティングの基礎知識を理解し、説明することができる。				◎	○	△		
流通システム論	選択科目 コンセントレーション科目 マーケティング	2~4	人口減少、消費者ニーズの多様化、業態を越えた競争激化等にもない変化を遂げつつある日本の流通について、体系的に解釈することができる。				◎	△	○		
マーケティング・リサーチ	選択科目 コンセントレーション科目 マーケティング	2~4	企業経営と情報、IT、システムの関係についての理論的基礎を修得することができる。あわせて、経営戦略やマーケティングとの関わりを具体的な事例をもとに理解することができる。				○	◎	△		
マーケティング・マネジメント	選択科目 コンセントレーション科目 マーケティング	2~4	マーケティングの基礎知識・基本理念と使用方法を理解し、企業経営における販売活動を分析する能力を習得することができる。				○	◎	○		
Marketing Management in Japan	選択科目 コンセントレーション科目 マーケティング	2~4	マーケティング・シミュレーションを利用し、企業が実際に行っているようなマーケティングの意思決定手法を学ぶことができる。					○	○	◎	◎
Modern Consumer Culture and Society	選択科目 コンセントレーション科目 マーケティング	3~4	Study of group and social behaviour of consumers and how companies might adjust their marketing. Special emphasis on Japan.	△	△			◎	○		◎
Marketing Positioning Strategy	選択科目 コンセントレーション科目 マーケティング	2~4	This course provides students who have grounding in international business with an opportunity to enhance and apply their knowledge of the global business environment and marketing strategies that firms pursue in entering foreign markets.		◎		○	○	◎		◎
eビジネス & マーケティング	選択科目 コンセントレーション科目 マーケティング	3~4	ITをベースにしたビジネス(eビジネス)に必要な要件を理解するとともに、eビジネスの事例を分析することを通じて、eビジネスに必要な要件や成功要因を考察することができる。さらに、これまでのeビジネスの歴史を振り返り、今後の方向性を予測することができる。				○	◎	△		
伝統産業とマーケティング	選択科目 コンセントレーション科目 マーケティング	3~4	日本各地に存在する伝統産業についての理解を深め、新規ビジネスを創出し、海外に事業を展開するためのマーケティング手法を習得することができる。				◎	△	◎	○	
消費者行動論	選択科目 コンセントレーション科目 マーケティング	3~4	消費者行動と消費者心理学について学び、事象にあてはめて分析することができる。	△	△			◎	○		

経営学部経営学科のカリキュラム				経営学部の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)							
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1) 高い倫理観を持って行動できる	2) 良好な人間関係を構築し、協働的に作業ができる	3) 英語以外の外国語による運用能力の(平易な会話、読み・書き)養成	4) 自律的・創造的に研究・調査できる能力の養成	5) 経営学全般に関する知識の応用	6) 課題を分析し、ビジネス・プロジェクトを論理的に立案・実行	7) ビジネス分析ツールの活用と、問題解決のためのリーダーシップの養成	8) 英語でビジネス課題を把握して解決策を提示することができる
マーケティング・コミュニケーション	選択科目 コンセントリーション科目 マーケティング	3~4	広告、広告産業の基礎知識から実際の広告計画の策定の考え方を、包括的に理解し、分析することができる。				○	◎		△	
リテイル・マーケティング	選択科目 コンセントリーション科目 マーケティング	3~4	小売業のビジネスモデルやマーケティング手法について、具体例にもとづき検討し、体系化することができる。				◎	△	○	○	
マーケティング・セオリー	選択科目 コンセントリーション科目 マーケティング	3~4	マーケティングの基礎的概念を踏まえ、企業人として主体的にマーケティング戦略を実践するための応用的思考方法を習得することができる。				◎	◎	◎		
データ・マイニング	選択科目 コンセントリーション科目 マーケティング	3~4	データを科学的に検証することの重要性を認識し、データに潜む情報を適切に抽出して分析・表現する能力を身につけることができる。				◎			○	
Basics in Marketing	選択科目 コンセントリーション科目 マーケティング	1~4	Students learn about the fundamentals of marketing in business, including the development of knowledge about key concepts such as the components of the marketing mix, value creation, and strategic positioning.				○	◎	○		○
Intermediate Marketing	選択科目 コンセントリーション科目 マーケティング	3~4	Students will gain the skills of collection, analysis, and interpretation of data pertaining to the marketing conditions.				○	◎	○		○
マネジメント											
組織と戦略	選択科目 コンセントリーション科目 マネジメント	2~4	特定の産業、特定の企業のケースを学び、経営組織について分析することができる。	△			△	○	◎		
経営と技術	選択科目 コンセントリーション科目 マネジメント	2~4	技術と社会や企業経営との関連を広い文脈から理解し、技術の発展が企業の組織や戦略にどのような影響を与えているのか、またその現代的な特徴は何かを学ぶことができる。	○			◎	○	○	○	
国際経営論	選択科目 コンセントリーション科目 マネジメント	2~4	市場と競争がグローバル化してきた21世紀型の競争環境のもとで、どのような経営戦略とマネジメントが求められているかを理解し、説明することができる。	○	○		○	◎	△	△	△
経営と心理	選択科目 コンセントリーション科目 マネジメント	2~4	経営の場面で必要とされる心理学に関する基本的な概念を理解し、マネジメント上の初歩的な課題について、これらの概念を用いて解決する思考力を習得することができる。	○	◎				○		
組織行動論	選択科目 コンセントリーション科目 マネジメント	2~4	組織における人間の心理・行動に関する重要な概念を理解し、これらの概念を用いて、マネジメント上の重要な課題を解決する思考力を習得することができる。	○	◎		○		○	◎	
マネジメントの理論	選択科目 コンセントリーション科目 マネジメント	2~4	経営管理論の基本的視角と主な理論、およびその発展方向・意味について、各論者の原典などに触れながら学ぶことができる。	△			◎	○	○	△	
経営戦略論	選択科目 コンセントリーション科目 マネジメント	2~4	経営戦略論の中心的概念である企業の成長と競争の分析に焦点を当てた講義をつうじて、企業のおかれている環境とそれに対する経営戦略を理解することができる。	○	◎		○		○	◎	
異文化コミュニケーション論	選択科目 コンセントリーション科目 マネジメント	2~4	異文化コミュニケーション学における理論・概念の学習を通して、「文化」とは何か、「コミュニケーション」とは何かを理解できるようになる。	○	◎						△
Introduction to Strategic Management	選択科目 コンセントリーション科目 マネジメント	2~4	To develop capacity to think strategically about a Multinational Enterprises, its position, resources and competitive capabilities, and long-term direction.		○		◎	△	◎		◎
Global Management Innovation	選択科目 コンセントリーション科目 マネジメント	2~4	The objective of this course is to understand innovation strategies, which produce the main source of global competitive advantages.	○	△		○	◎	△	△	◎
クロスボーダーM&A戦略論 (EYストラテジーアンド・コンサルティング株式会社 寄附講座)	選択科目 コンセントリーション科目 マネジメント	2~4	M&A戦略の立案からPMI実行までの一連のプロセスの学習を通して、経営学全般に関する知識の実務的応用力を身につけることができる。				◎	◎	○		
人材マネジメント論	選択科目 コンセントリーション科目 マネジメント	3~4	日本企業における雇用形態の多様化、人材マネジメントの特徴、人事制度の効用と限界を考察しながら、雇用形態の多様化に適した人材マネジメントとは何かを学ぶことができる。	◎				◎	◎		
組織マネジメント	選択科目 コンセントリーション科目 マネジメント	3~4	経営組織の入門コースである。入門者にもわかりやすい自動車産業の事例などをと、組織と戦略の視点から基礎理論を学び、現代的課題を確認することができる。	△			△	○	◎		
生産管理論	選択科目 コンセントリーション科目 マネジメント	3~4	企業における生産活動の発展と現状、その意味および競争上の重要性について、歴史的および社会的な観点から理解することができる。	△			◎	○	○	○	
比較組織論	選択科目 コンセントリーション科目 マネジメント	3~4	われわれは組織の中で生活している。比較組織論を学ぶことで、現実の組織を認識し、いかに生きるかを自らに問いかけることができるようになる。		◎				○	△	
イノベーション・マネジメント	選択科目 コンセントリーション科目 マネジメント	3~4	イノベーションの概念とフレームワークを理解でき、どのようにマネジメントしていくべきか、現実の企業に当てはめて考察することができるようになる。	○	△		○	◎	△	○	

経営学部経営学科のカリキュラム				経営学部の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)							
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1) 高い倫理観を持って行動できる	2) 良好な人間関係を構築し、協働的に作業ができる	3) 英語以外の外国語による運用能力の(平易な会話、読み・書き)養成	4) 自律的・創造的に研究・調査できる能力の養成	5) 経営学全般に関する知識の応用	6) 課題を分析し、ビジネス・プロジェクトを論理的に立案・実行	7) ビジネス分析ツールを活用し、問題解決のためのリーダーシップの養成	8) 英語でビジネス課題を把握し、解決策を提示することができる
Global Strategic Management	選択科目 コンセンテレーション科目 マネジメント	3~4	Development of an overall management viewpoint integrating the specific business functions in a global environment.		△			△	△	△	◎
Strategic Management	選択科目 コンセンテレーション科目 マネジメント	3~4	Development of an overall management viewpoint integrating the specific business functions in a global environment.	○	△						◎
アカウンティング&ファイナンス											
ビジネスエコノミクス	選択科目 コンセンテレーション科目 アカウンティング &ファイナンス	2~4	「組織の経済学」という経済学の視点を取り入れたフレームワークを用いて、ビジネスの諸現象を理解することができる。				◎	○	○		
財務会計	選択科目 コンセンテレーション科目 アカウンティング &ファイナンス	2~4	制度会計全体の仕組みを正しく理解し、特に財務諸表の構造ならびに分析について深く学ぶことができる。	○			△	○	◎	○	
管理会計	選択科目 コンセンテレーション科目 アカウンティング &ファイナンス	2~4	すでに学習した簿記の知識を踏まえて、会計学全般に及ぶ教養と、特に財務諸表を中心とする財務会計理論を習得することができる。				○	◎	◎	○	
財務諸表分析	選択科目 コンセンテレーション科目 アカウンティング &ファイナンス	2~4	企業経営と財務(会計)の関係、財務諸表の構造、財務分析に関する基本的な手法などを理解することができる。				○	◎	◎	○	
コーポレート・ファイナンス	選択科目 コンセンテレーション科目 アカウンティング &ファイナンス	2~4	企業資本や資本コスト概念を学習し、資本調達と運用の関係を理論的に理解することができる。また、資本コスト概念を中心に投資の経済計算や企業評価モデルを知ることができる。	○			○	◎	○	○	
Financial Accounting	選択科目 コンセンテレーション科目 アカウンティング &ファイナンス	2~4	Students will learn accounting concepts in global accounting standards, how to prepare basic financial statements, and how to understand MNC's annual report.					○	○	◎	◎
Finance	選択科目 コンセンテレーション科目 アカウンティング &ファイナンス	2~4	Purpose is to introduce the student to financial concepts and tools used in a business context. Should be able extract essential information from annual reports and understand basic financial analysis involved in negotiations.		△		○	◎	○		◎
会計監査	選択科目 コンセンテレーション科目 アカウンティング &ファイナンス	3~4	会社法ならびに金融商品取引法を中心に会計制度全般を理解したうえで、会計監査の理論および実践を正しく知ることができる。	◎	△			○	◎	◎	
税務会計	選択科目 コンセンテレーション科目 アカウンティング &ファイナンス	3~4	税法全般について学習したうえで、特に会社法ならびに法人税法を中心とした税務会計の枠組みと実務に関して正しく理解することができる。	◎	△			○	◎	◎	
インベストメント	選択科目 コンセンテレーション科目 アカウンティング &ファイナンス	3~4	本授業の目的は、ファイナンスの理論と応用を本格的に学ぶための基本概念と基礎的数量的分析スキルを段階的に身につけていくことである		△		○	◎	○		
ファイナンスのための数学	選択科目 コンセンテレーション科目 アカウンティング &ファイナンス	2~4	ファイナンスにおける実践的課題を解決する数量的手法の概要や適用を理解し、実際に活用することができる。					○	◎		
Corporate Finance and Valuation	選択科目 コンセンテレーション科目 アカウンティング &ファイナンス	3~4	The course introduces the student to the theory and practice of corporate valuation. Prepare students to read and critically analyze analyst reports and financial valuation of business operations.	△	◎		◎	◎	◎		◎
Basics in Accounting	選択科目 コンセンテレーション科目 アカウンティング &ファイナンス	1~4	Students learn about the fundamentals of accounting in business, including the development of knowledge about key concepts such as cash flow, revenue, liability, and depreciation.				○	◎	○		○
Basics in Finance	選択科目 コンセンテレーション科目 アカウンティング &ファイナンス	1~4	Students learn about the fundamentals of finance in business, including the development of knowledge about financial decisions, finance markets, and the finance system.				○	◎	○		○
Intermediate Finance	選択科目 コンセンテレーション科目 アカウンティング &ファイナンス	3~4	Students learn the fundamental theory of corporate finance and valuation.				○	◎	○		○
Intermediate Accounting	選択科目 コンセンテレーション科目 アカウンティング &ファイナンス	3~4	Students will gain the skills of reading and analyzing corporate financial statements to evaluate financial performance and condition.				○	◎	○		○
コミュニケーション											
異文化コミュニケーション論	選択科目 コンセンテレーション科目 コミュニケーション	2~4	異文化コミュニケーション学における理論・概念の学習を通して、「文化」とは何か、「コミュニケーション」とは何かを理解できるようになる。	○	◎						△
組織行動論	選択科目 コンセンテレーション科目 コミュニケーション	2~4	組織における人間の心理・行動に関する重要な概念を理解し、これらの概念を用いて、マネジメント上の重要な課題を解決する思考力を習得することができる。	○	◎		○		○	◎	
Language and Culture	選択科目 コンセンテレーション科目 コミュニケーション	2~4	Students will learn how language is used by people in various sociocultural contexts and reflect on their own use of language for a better understanding of the world around them.				○	○	○		○

経営学部経営学科のカリキュラム				経営学部の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)							
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1) 高い倫理観を持って行動できる	2) 良好な人間関係を構築し、協働的に作業ができる	3) 英語以外の外国語による運用能力の(平易な会話、読み・書き)養成	4) 自律的・創造的に研究・調査できる能力の養成	5) 経営学全般に関する知識の応用	6) 課題を分析し、ビジネス・プロジェクトを論理的に立案・実行	7) ビジネス分析ツールの活用と、問題解決のためのリーダーシップの養成	8) 英語でビジネス課題を把握し、解決策を提示することができる
Advanced Small Group Communication	選択科目 コンセントレーション科目 コミュニケーション	2~4	Students will learn various concepts and theories of small group communication through both course lecture and group projects.	○	◎				◎	△	◎
グローバルゼーションと地域	選択科目 コンセントレーション科目 コミュニケーション	3~4	国際化の進む今日において地域社会の経済、産業、文化消費生活などを総合的に理解し分析することができる。	○			○	○	○		
消費者行動論	選択科目 コンセントレーション科目 コミュニケーション	3~4	消費者行動と消費者心理学について学び、事象にあてはめて分析することができる。	△	△			◎	○		
マーケティング・コミュニケーション	選択科目 コンセントレーション科目 コミュニケーション	3~4	広告、広告産業の基礎知識から実際の広告計画の策定の考え方を、包括的に理解し、分析することができる。				○	◎		△	
コミュニケーション・リサーチ	選択科目 コンセントレーション科目 コミュニケーション	3~4	コミュニケーション研究における研究手法の概説、およびそうした手法を用いた論文のクリティックを行い、具体的なコミュニケーション研究の計画を立て、その計画の実施が円滑に行うことができる。	○	◎		○	○	○		
Business Communication	選択科目 コンセントレーション科目 コミュニケーション	3~4	Students will study and practice communication skills necessary for carrying out business activities in English.	◎	◎		△	△	○	△	◎
専門演習											
2年次演習1 2年次演習2	専門演習	2	1年次に習得した知識・技術などを用いたグループ学習を通じて、社会で活躍するための問題発見力などを身につけることができる。		○		◎	○			
3年次演習1 3年次演習2	専門演習	3	少人数のグループワークを通じて、社会で活躍するために必要な問題発見・仮説提示力、解決策立案力、プラン実行力を身につけることができる。		○		◎	○			
卒論演習1 卒論演習2 卒業論文	専門演習	4	論文作成のプロセスを通じて、「人間にとって知的好奇心を満たす作業がいかに楽しいか」ということを実感することができる。		○		◎	○			
ワークショップ演習A-J	専門演習	2~4	少人数のグループワークを通じて、社会で活躍するために必要な問題発見・仮説提示力、解決策立案力、プラン実行力を身につけることができる。		○		◎	○			
Global Study											
Global study 1-9	Global Study	1~4	Goals vary. (This is an independent research program for studies of global and international business.)				○	○	○	○	○
Global Study (Pre-departure)	Global Study	2~4	Prepare students for challenges of studying abroad. To make the study abroad experience rewarding and provide a global perspective on future career goals.	◎	◎		△				△
Topics in Business 1-5	Global Study	3~4	Topics vary with each instructor. All topics courses are related to international business and taught in English.				○	○	○	○	○
自由科目											
企業セミナー・自主講座											
企業人セミナー1	自由科目 企業人セミナー ・自主講座	3~4	第一線の企業人による事例の紹介や問題の提起を踏まえ、経営学の専門知識への理解をいっそう深めるとともに、「仕事」について、自分のキャリアについて、人生について省察できる。	○	○		○	○			
企業人セミナー2	自由科目 企業人セミナー ・自主講座	3~4	第一線の企業人による事例の紹介や問題の提起を踏まえ、経営学の専門知識への理解をいっそう深めるとともに、「仕事」について、自分のキャリアについて、人生について省察できる。	○	○		○	○			
企業人セミナー3	自由科目 企業人セミナー ・自主講座	3~4	第一線の企業人による事例の紹介や問題の提起を踏まえ、経営学の専門知識への理解をいっそう深めるとともに、「仕事」について、自分のキャリアについて、人生について省察できる。	○	○		○	○			
経営学部特別講義 1-4	自由科目 企業人セミナー ・自主講座	2~4	自分自身の生きがい・やりがいを考えることから、自己表現の仕方を身につけ、ビジネス(対人)コミュニケーションの知識・スキルを体得することができる。		○		◎		○	○	
インターンシップ											
Global Internship	自由科目 インターンシップ	1~4	企業・団体に最低4週間~6週間、学部での学びを活かしてフルタイムで参画する実践型インターンシップです。グローバルに活躍する経営者、従業員と共に働きながら、職場の課題に取り組み、グローバル人材を育成する。仕事についての理解、仕事を取り組むうえでの自身の課題を明確にし、自主性、問題解決力、コミュニケーション力の向上を目指す。	◎	◎	△	◎	◎	◎	◎	◎
Long-term Global Internship	自由科目 インターンシップ	2~4	企業・団体に最低4か月~6か月間、学部での学びを活かしてフルタイムで参画する実践型インターンシップです。グローバルに活躍する経営者、従業員と共に働きながら、自ら発見した職場の課題に、周囲を巻き込んで主体的に取り組むことで、グローバルに活躍できる人材を育成する。仕事についての理解、仕事を取り組むうえでの自身の課題を明確にし、自主性、問題解決力、コミュニケーション力の向上を目指す。	◎	◎	△	◎	◎	◎	◎	◎
Short-term Study Abroad Program1	自由科目 インターンシップ	1~4	異文化体験、異文化交流、企業訪問を通してアジアで活躍できるグローバル人材となるべく気づきと学びを醸成する。	○	◎	△	○	○	△		○

経営学部経営学科のカリキュラム				経営学部の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)							
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1) 高い倫理観を持って行動できる	2) 良好な人間関係を構築し、協働的に作業ができる	3) 英語以外の外国語による運用能力の(平易な会話、読み書き)養成	4) 自律的・創造的に研究・調査できる能力の養成	5) 経営学全般に関する知識の応用	6) 課題を分析し、ビジネス・プロジェクトを論理的に立案・実行	7) ビジネス分析ツールの活用と、問題解決のためのリーダーシップの養成	8) 英語で課題を把握し、解決策を提示することができる
Short-term Study Abroad Program2	自由科目 インターンシップ	1~4	異文化体験、異文化交流、企業訪問を通してアジアで活躍できるグローバル人材となるべく気づきと学びを醸成する。	○	◎	△	○	○	△		○
Sports Facility Management	自由科目 インターンシップ	1~4	Develop cross cultural management/communication skills. Learn about sports facility management at an internationally recognized sports training complex.	○	◎		○	○	△	△	◎
国際経営分野											
Overseas EAP(海外EAP)	自由科目 国際経営分野	1	Students will demonstrate an improvement in English ability for use in business and general academic study. 英語でビジネスプロジェクトを他の学生らと協力して遂行でき、グループでプレゼンテーションができる。	△	◎		○	△	◎	○	◎
EAP 1	自由科目 国際経営分野	1	Students will learn academic English skills through a range of student-centered learning projects and tasks. 読んだり聞いたりした英文の概要を英語でまとめることができ、その内容について英語でディスカッションすることができる。また、ビジネスに関連するトピックについて英語でプレゼンテーションができる。	△	○		○	△	△	△	○
Business Project	自由科目 国際経営分野	3~4	Students will develop project skills necessary for presenting business proposals in English. 高度なビジネス・プロジェクトについて調査し、ビジネス分析ツールを使ってデータを分析し、提案内容を英語でグループ・プレゼンテーションできる。	△	◎		◎	◎	◎	◎	◎
Advanced Business Project	自由科目 国際経営分野	3~4	Students will develop advanced skills in research and application of business knowledge for developing and communicating business proposals in English. ビジネス企画を立案したり英語でプレゼンテーションするための、高度なリサーチやビジネス知識の応用力を習得できる。	△	◎		◎	◎	◎	◎	◎
International Business-A	自由科目 国際経営分野	2~4	1) to learn the fundamentals and significance of international trade theories and systems 2) to examine how governments and legal systems affect international business, and 3) to investigate the social and ethical roles of business in today's global society		○			△	◎		◎
International Business-B	自由科目 国際経営分野	2~4	Introduce the student to financial markets and corporate strategy in an international context. Student should obtain greater insight into the environment in which a multinational business operates.		○		○	◎	○		◎
ESP-A	自由科目 国際経営分野	2	This course provides language support for International Business- A course, while developing students' academic English skills. International Business-Aのテキストを速読して概要を掴み、その内容についてディスカッションできる。	△	○		○	○	○	○	○
ESP-B	自由科目 国際経営分野	2	This course provides language support for International Business- B course, while developing students' academic English skills. International Business-Bのテキストを速読して概要を掴み、その内容についてディスカッションできる。	△	○		○	○	○	○	○
EAP2	自由科目 国際経営分野	2	Students will develop research and study skills for business content courses in English to be taught in the remainder of the program. ビジネスに関するレクチャーやスピーチを聞きながら英語でノートが取れ、ビジネスに関する大量の英文を英語のまま理解し、その内容についてディベートやディスカッションができ、英語でレポートが書ける。	△	○		○	○	○	○	○
Marketing Communications and Penetrating the Japanese Market	自由科目 国際経営分野	3~4	Students learn what makes the Japanese market unique and the best modes of market entry through cases and group projects.	△	○	○	○	○	○	○	◎
International Human Resource Management	自由科目 国際経営分野	3~4	Students will expand awareness, enhance understanding and develop skills essential for success in managing a global workforce.	△			○	○	○	○	◎
Financial Statement Analysis	自由科目 国際経営分野	3~4	Students learn to read and analyze corporate annual reports and detailed financial statements.	○			○	○	◎		◎
Business Negotiation	自由科目 国際経営分野	3~4	Student learn various theories and approaches to negotiating in the context of international business through cases, simulations, and group work exercises.	○	◎			○	○	○	◎
International Business Management (Uvic Summer Prog)	自由科目 国際経営分野	2~4	英語によりビジネスコミュニケーション、国際経営、アントレプレナーシップ、サービスマネジメントを学び、国際経営の理論と実践についての理解を深めるとともに応用力をつけることができる。	△			○	○	○	△	◎
Argumentation and Debate	自由科目 国際経営分野	2~4	Students learn various concepts and theories of debate and argumentation through group work and simulated scenarios.	○	◎			○	○	○	◎
Japanese and East Asian Business Environments	自由科目 国際経営分野	3~4	Students will develop a working knowledge of the business environments of selected Asian economies and of the factors that impact business in the East Asia region as a whole.		◎		◎	◎	○		◎
Intercultural Business Management	自由科目 国際経営分野	3~4	To understand how to manage international teams. Learn about how cultural difference influences management style and company culture.				○	○	○	○	◎